

信州大学医学部附属病院 整形外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年12月1日

**「単発性骨嚢腫の治療法と長期的な治療成績に関する多施設共同研究」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4951
研究課題名	単発性骨嚢腫の治療法と長期的な治療成績に関する多施設共同研究
所属(診療科等)	整形外科
研究責任者(職名)	鬼頭 宗久(診療助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日
研究の意義、目的	単発性骨嚢腫は若年者の上腕骨(じょうわんこつ:うでの骨)や大腿骨(だいたいこつ:ふとももの骨)、踵骨(しょうこつ:かかとの骨)などのできる良性の骨腫瘍に似たできもの(腫瘍類似疾患)です。治療は、病巣が小さければ経過観察、骨折をきたす可能性があれば手術やステロイド注入などが行われますが、手術の方法にも様々な方法があります。しかし、再発率が高く(およそ40～80%ほど)、再発を繰り返すと手足の機能が損なわれることがあるとされており、日本全体でのまとまった報告はなされていません。本研究の目的は、日本の骨軟部腫瘍専門病院(骨軟部肉腫治療研究会に所属する施設)で治療された単発性骨嚢腫の患者さんの治療経過を解析し、再発の頻度やそれらに対する治療、そして最終的な疾患の治癒率や手足の機能をまとめることで、今後の診療に役立てることを目的としています。
対象となる患者さん	2003年4月1日から2015年7月31日の期間に当院で単発性骨嚢腫について手術を受けられ、5年以上経過観察ができた方
利用する診療記録／検体	初診日、初診時画像所見(レントゲン, MRI)、手術日、術式、合併症、合併症に対する治療、再発の有無、再発に対する治療、患肢機能 等
他機関への試料・情報の提供方法	パスワードロックのかかる電子媒体により提供します
研究方法	この研究では、診療のときに検査した各種画像検査、診療記録のデータを使います。そのときに患者さんのお名前などの個人情報削除します。その後、必要なデータをまとめ、再発や転移の有無、術後の手足の機能についての研究を行います。集めたデータは学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。

共同研究機関名	JMOG 参加施設 ( <a href="http://jmog.jp/map/index.html">http://jmog.jp/map/index.html</a> ) のうち、本研究に参加することを締結した施設となります。
研究代表者	主任施設の名称: 金沢大学 研究責任者: 土屋弘行
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 鬼頭宗久(整形外科・診療助教) 電話: 0263-37-2659

**診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である金沢大学に提供します。**

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。